

国家試験受験対策プログラム

～早期からの受験対策と卒後のフォローアップまで～

このプログラムは、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師（あはき師）の国家試験合格を目標とし、利用者の個性や視覚の状況に応じた受験対策支援を段階的に示したものです。

【自立訓練】（理療教育開始前）

～学習に必要な機器等の操作を習得する～

1. 学習手段の獲得

就労移行支援（あはき師養成）の利用希望者に対し、自立訓練期間中に学習手段（パソコン、タブレット、録音再生機器、点字、墨字補助機器など）の習得を支援します。

2. 模擬授業の受講

理療教育の模擬授業を受講し、学習手段として各種機器を活用できるかを確認します。

3. 確認テストの受験

模擬授業の内容に沿った小テストを受験し、学習の成果を確認します。

【学年共通】

1. 普段の学習サポート

～学習状況に応じた3 つの支援～

授業の補習

不安のある科目や成績が振るわなかった科目について、補習や学習課題の提供、学習相談を行います。

学習技術の支援

パソコン操作、教科書の使い方、ノートの取り方などの学習技術を個別に支援します。年間を通じて専門講師によるパソコン講座も実施します。

総合学習支援講座の実施

国家試験問題の読解に必要な語彙力・文章読解力向上のための講座を開講し、専門講師が担任や科目担当者と連携して支援します。

2. 長期休業期間の講座

～国家試験頻出分野の再確認～

年3回（夏季・冬季・春季）の長期休業期間中に、解剖学・生理学・経絡経穴概論・東洋医学概論を中心とした受験対策講座を実施します。

1 年生：12 月下旬

2 年生：7 月上旬、3 月上旬

3 年生：7 月中旬

3. 実力試験・模擬試験の実施

～学習到達度と基礎知識の確認～

1 年生：冬季・春季の年2回

2 年生：春季に1回

3 年生：7 月・11 月・12 月に実施

春季試験は学年末に行い、1 年間の学習定着度を確認します。この試験結果を基に、長期休業期間の実力養成講座の内容を計画します。3 年生の結果は、国家試験対策や受験環境の整備（持込み物品等）に活用します。

【学年別の受験対策】

【1 年次】

～学習手段・学習方法・学習習慣を確立する～

受験対策は日々の自学自習の積み重ねが重要です。そのため、1 年次に学習手段・方法・習慣を早期に身につけることが鍵となります。

オリエンテーション・初期学習支援講座（約1 週間）

6 月下旬までに学習習慣の定着を確認し、指導を実施

冬季・春季実力試験で定着度を確認し、弱点克服を支援

【2 年次】

～専門基礎科目の知識を定着・強化し、総合的な理解を深める～

基礎科目フォローアップ講座（9 月開始）

学年末の後期期末試験・春季実力試験で成果を確認

【3 年次】

～基礎知識の定着から模擬試験結果を通した科目別の対策まで～

3 年生の受験対策は3 つの段階に分けて実施します。

第1期（4月～夏季休業まで）

受験対策アンケートを実施

基礎科目フォローアップ講座（解剖学・生理学）

7月に第1回模擬試験を実施し、夏季実力養成講座で頻出分野を強化

第2期（前期期末試験後～冬季休業まで）

問題演習による総合的な受験対策

11月・12月に模擬試験を実施し、弱点克服の状況を確認

第3期（後期期末試験後～国家試験直前）

受験直前対策として、国家試験問題の解答力向上を支援

頻出分野・問題を絞り込み、効率的な学習計画を個別に作成

【再受験】

～国家試験不合格者への支援～

規程に基づき、卒業生の再受験を支援します。

1. 通信指導（9月開始）

専任係が学習相談に対応

模擬試験の受験希望者は、当センターで本番に近い環境で受験可能

対象者：原則として過去3年間の卒業生

2. 再理療教育（遠隔講座あり）（10月開講）

週 20 時間、8 科目（解剖学・生理学・東洋医学概論・経絡経穴概論・臨床医学各論等）の受験対策講座を実施

オンライン講座にも対応し、自宅等で学習可能

専任クラス担任が学習相談・学習支援を実施

対象者：原則として前年度の卒業生

このプログラムを通じて、受験生が確実に合格を勝ち取れるよう、継続的な支援を提供していきます。